

研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
A-152	A-141	22-045
滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門 三浦克之		
題名 (原題/訳)		
Military service branch differences in alcohol use, tobacco use, prescription drug misuse, and mental health conditions / 軍種の違いによる飲酒、喫煙、薬物使用、およびメンタルヘルス		
執筆者		
Schuler MS, Wong EC, Ramchand R.		
掲載誌		
Drug Alcohol Depend. 2022 Jun 1;235:109461. doi: 10.1016/j.drugalcdep.2022.109461.		
キーワード		PMID
軍隊、飲酒、喫煙、薬物使用、メンタルヘルス		35487079
要 旨		
<p>目的: 米国の現役軍人を対象とし、軍種と薬物使用・メンタルヘルスとの関連性、およびその関連性が対象者の背景要因および派遣経験にどの程度影響されるかについて検証した。</p> <p>方法: 米国防総省が実施した 2015 年健康関連行動調査から得られた現役軍人 16,699 人 (空軍 4,150 人、陸軍 3,197 人、海兵隊 2,184 人、海軍 3,016 人、沿岸警備隊 4,152 人) を対象とした。重度飲酒 (HED: 過去 1 ヶ月以内に 1 回 5 杯以上 (男性) または 4 杯以上 (女性))、アルコール使用障害 (AUD: 過去 1 年間の AUD 識別スコアが男性 4 以上、女性 3 以上)、現在の喫煙、電子タバコ使用、無煙タバコ使用、薬物使用 (過去 1 年間に処方箋なしまたは処方より多い抗うつ剤等の使用)、心的外傷後ストレス障害 (PTSD: 市民向けチェックリスト)、うつ病 (患者健康質問票-9)、不安 (全般性不安障害-7) のメンタルヘルスの有病割合を軍種別に確認した。多変量ロジスティック回帰において、対象者の背景要因と派遣・戦闘経験因子を調整因子とし、軍種と薬物使用・メンタルヘルスの関連性を評価した。</p> <p>結果: 空軍と比較し、他の軍種で HED (陸軍オッズ比 (OR) =1.52、海兵隊 OR=2.89、海軍 OR=2.02、沿岸警備隊 OR=1.79)、AUD (陸軍 OR=1.40、海兵隊 OR=2.67、海軍 OR=1.87、沿岸警備隊 OR=1.46)、喫煙 (陸軍 OR=1.78、海兵隊 OR=2.63、海軍 OR=1.57)、電子タバコ使用 (海兵隊 OR=1.63、海軍 OR=1.44)、無煙タバコ (陸軍 OR=1.57、海兵隊 OR=3.30)、薬物使用 (陸軍 OR=1.67)、PTSD (陸軍 OR=2.93、海兵隊 OR=2.49、海軍 OR=2.66)、うつ (陸軍 OR=2.90、海兵隊 OR=3.67、海軍 OR=2.64)、不安 (陸軍 OR=2.58、海兵隊 OR=3.26、海軍 OR=2.70) が有意に高かった。調整後は陸軍、海兵隊、海軍の軍人は空軍と比較して、複数のメンタルヘルスおよび薬物使用の OR が約 2-3 倍高かった。</p> <p>結論: 米国現役軍人の薬物使用やメンタルヘルス問題の顕著な割合と、軍種間の異質性が確認できた。また、それらの異質性は対象者の背景要因や派遣経験などですべて説明がつかず、今後は軍種特有のそれらの危険因子を検証していく必要がある。</p>		